

第一次佐久市総合計画後期基本計画「目標」の進行状況(まとめ)

資料 2-2

<色別表示の見方>

■:目標の推移が「順調」

■:目標の推移が「概ね順調」

■:目標への進行状況が「やや遅れている」

■:目標への進行状況が「遅れている」

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						(参考) 平成24年度 実績値		
					計画策定 時の値	平成28年度 末の目標値	平成25年度		結果の分析	今後の方針		備考	
							目安値	実績値					評価
1	111	文化・芸術	貸し館系施設の利用 件数	件/年	8,705 [H22]	9,500	9,023	10,916	順調	芸術文化への関心の高まりや高齢者等の余暇利用から、貸館の利用件数が増えていると考えられる。	利用者の利便性を考え、利用しやすい親しまれる施設運営をしていくとともに、利用する人を支援する施策を検討していく。	目標達成	9,889
2			観覧系施設の延べ入 館者数	人/年	38,844 [H22]	40,000	39,306	35,802	遅れている	各施設とも、企画を考えて実施し入館者増を図っているが、入館者数は変化していないことから、減少傾向は継続していると考えられる。	展示・展覧会の企画に力を入れていくとともに、講演会やワークショップなどの講座を引き続き開催し、入場者の増加に取り組む。		35,802
3			少年考古学教室参加 者数	人/年	67 [H22]	80	72	87	順調	教室の内容を発掘調査体験から作業体験に変更し、参加者が増加した。	少年考古学教室を継続するとともに、児童生徒が参加しやすい時期に開催することや、文化財への関心を高めるための内容などを検討し、「順調」の評価を維持することを目指す。	目標達成	78
4	112	地域間交流・国際 交流	国際交流フェスティ バル延べ参加者数	人/年	2,800 [H22]	3,500	3,080	2,500	遅れている	ポスター、チラシにより広報に努めたが、参加者は目標値を下回った。	民間団体が主体となって開催できるイベントについては、民間団体への移行を図る。		2,750
5			国際交流サロン延べ 参加者数	人/年	319 [H22]	400	351	328	やや遅れている	事業を企画するボランティア団体からのサロン開催希望が減ったことにより、開催回数が減少し、参加者数は目標値を下回った。	国際交流サロンは、外国籍市民と日本国籍市民の交流の場として事業を継続するが、事業の企画、運営をはじめ事務局についても民間団体への移行を検討していく。		309
6			空き家バンク掲載物 件の契約成立件数	件/年	39 [H22]	50	43	59	順調	佐久市空き家バンクの周知が図られていることが契約実績に結び付いている。	利活用可能な空き家の掘り起こしにより、引き続き空き家バンクの充実を図る。	目標達成	47

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						(参考) 平成24年度 実績値		
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成25年度		結果の分析	今後の方針		備考	
							目安値	実績値					評価
7	113	人権尊重社会	人権教育・啓発事業などの延べ参加者数	人/年	8,105 [H22]	8,500	8,263	10,135	順調	新たに福祉施設や新任・転入教職員への研修会、また、区に対して学習会について積極的な呼びかけを行ったことで、目標の成果が得られた。	人権同和教育講座や各区への学習会、また、学校・企業での研修会を開催し、市民一人ひとりの人権意識の高揚を図っていく。	目標達成	11,033
8			隣保館活動などの延べ参加者数	人/年	5,227 [H22]	5,300	5,256	6,073	順調	身近な内容の事業であったことと、広く市民に情報提供をしたため、目標の成果が得られた。	地域の実態やニーズに合わせた身近な内容等を取り入れた事業を引き続き実施し、地域住民との交流を促進していく。	目標達成	6,025
9	114	男女共同参画社会	審議会などにおける女性委員の登用率	%	18.1 [H22]	25.0	21	20.5	概ね順調	各課へ呼び掛けてきたことにより、女性委員の登用が微増ではあるが上がってきている。	機会あるごとに各課への呼びかけ協力を仰ぐとともに、一般公募の中に率先して手を挙げていけるような、女性の人材育成を図っていく。		19.7
10	122	学校教育	小学校不登校児童の割合	%	0.36 [H22]	0.32	0.34	0.60	遅れている	家庭環境がより複雑になり、昼夜逆転等で生活リズムが乱れている児童が増加してきているため。	児童相談所や子育て支援課等、関係機関との連携を密にし、児童の家庭環境の大きな変化をいち早くつかみ、適切な対応をしていく。		0.51
11			中学校不登校生徒の割合	%	3.24 [H22]	2.74	3.04	3.46	遅れている	関係機関との連携をより深める努力をしたところ、不登校生徒の数は減少したが、目標値には及ばなかった。	日々の欠席状況の把握や生徒との教育相談の機会を定期的に設けることなどに重点を置き、不登校状況を未然に防ぐための努力をしていく。		3.35
12	123	高校教育・高等教育	奨学金制度利用者数	人/年	32 [H22]	40	35	49	順調	制度の周知が進み利用者は順調に推移している。	制度のPRとあわせ、他の制度や、他の自治体の制度と比較検討し、本制度が、さらに活用されるよう、改善していく。	目標達成	21
13	124	青少年の健全育成	各地区の育成活動への延べ参加者数	人/年	183,139 [H22]	184,000	183,483	146,429	遅れている	年々児童数の減少が大きくH22年度とH25年度を比較すると、児童数は365人減少し、育成会活動への参加延べ人数は36,710人減少となっている。今後も児童数の減少は続くと考えられるので、目標値への達成は難しいと思われる。このような中で、育成会活動や地域体験活動を更に推進するためには、育成会活動の取組に対するアドバイスや他地区との合同開催の提案等による支援が必要である。	各地区の育成会活動への支援として、個々の取組内容に対するアドバイスや他地区との合同開催の提案等を推進する。		167,007

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						結果の分析	今後の方針	備考	(参考)
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成25年度		評価	平成24年度実績値				
							目安値	実績値						
14	131	生涯学習	生涯学習市民のつどいなどのイベント延べ参加者数	人/年	31,394 [H22]	32,000	31,636	37,380	順調	参加者数については、イベント数の増減および天候により変動するが、25年度は目標値を超えることができました。	生涯学習の機会に関わる情報の提供は、手法、場所等について工夫を重ねて行く。	目標達成	29,371	
15			公民館事業別延べ参加者数	人/年	37,106 [H22]	38,000	37,464	25,733	遅れている	台風接近による「コーラスまつり」の中止や、2月の大雪により「公民館のつどい」が中止になったことから大幅な減となった。	引き続き、公民館事業参加者の獲得に向け、事業内容の見直しや、事前のPRを実施していく。		33,978	
16			図書などの貸出し冊数	冊/年	531,901 [H22]	600,000	559,141	534,284	遅れている	前年度に比べ開館日数が5日少なかったこと(2月の大雪による臨時休館2日含む)や、大雪により、開館中でも来館者が激減した日が2週間ほど続いたこと。またシステム更新作業のため、貸出しを行えない期間が10日間あったことなどにより、貸出し冊数が伸びなかった。	平成26年度から始まる読書通帳事業や、望月の読書に心地よい椅子コンテスト等により利用者拡大のための工夫を図る。		567,453	
17	132	スポーツ	スポーツ教室延べ参加者数	人/年	4,225 [H22]	5,000	4,535	3,046	遅れている	参加者不足により中止となった教室が5教室あったため、昨年より少ない結果となった。	市民ニーズを把握し、教室の内容を検討するとともに、指導者の発掘・育成をしていく。		4,328	
18			スポーツ大会延べ参加者数	人/年	15,912 [H22]	17,500	16,547	13,644	遅れている	悪天候により、1大会が中止となったが、1大会が新たに加わった事により昨年とほぼ同じ結果となった。	参加チームや参加者の減少している大会は、競技団体と今後のあり方を検討する。		13,453	
19			体育施設延べ利用者数	人/年	631,300 [H22]	700,000	658,780	686,948	順調	平成25年4月に佐久総合運動公園陸上競技場がオープンしたことや、平成23年度に改修を行った白田テニスコートの利用者が年々増加していることによる。	体育施設の効率的・効果的な管理運営について指定管理者制度の導入を検討する。		635,910	

第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移							(参考) 平成24年度 実績値	
					計画策定 時の値	平成28年度 末の目標値	平成25年度			結果の分析	今後の方針		備考
							目安値	実績値	評価				
20	211	高速交通 ネットワーク	長野新幹線の延伸 (長野ー金沢間の開 業)		未開業 [H22]	開業		26年度開 業予定	実績値なし	金沢までの延伸開業が平成27 年3月と決定した。列車名につ いても「あさま」の名前が残っ た。	北陸新幹線の佐久平駅停車本数 確保に向けて関係機関へ働きか けて行くとともに、敦賀までの 速やかな着工と金沢ー大阪間の 早期全線開通を目指し関係団体 と協力していく。		26年度開 業予定
21			中部横断自動車道佐 久南インターチェン ジャー八千穂インター チェンジ(仮称)間 の開通		未開通 [H22]	開通		28年度以 降の開通	実績値なし	本区間について、平成26年4月 に国土交通省より平成29年度 に開通と公表された。	29年度開通に向けて、道水路 整備事業、中部横断自動車道調 整事業を進捗させる。 併せて、県施行の県道上小田切 臼田停車場線アクセス道の整備 促進していく。		28年度以 降の開通
22			中部横断自動車道八 千穂インターチェン ジャーから長坂ジャ ンクション(仮称)間 の整備計画格上げ		基本計画 区間 [H22]	整備計画 区間		未定	実績値なし	計画段階評価が行われルート 帯案が決定。今後の対応方針案が まとまり、次に整備区間への格 上げの段階。	今後は、環境アセスの実施、整 備区間格上げに向けて要望活動 を行っていく。		未定
23	212	地域交通 ネットワーク	幹線道路整備延長	m	4,731 [H22]	8,231	6,131	7,440	順調	事業用地取得などが順調であつ たため、目安値以上の進捗と なった。	財源確保、コスト縮減に努め整 備延長を確保する。		6,127
24			都市計画道路整備延 長	m	59,527 [H22]	63,377	61,067	66,400	順調	中部横断自動車道の整備が進ん だことにより、目標値を大幅に 上回った。	すでに目標値を達成したが、引 き続き、今後も整備に努める。	目標 達成	64,845
25			アダプトシステム管 理箇所数	箇所	3 [H22]	19	9	17	順調	新規供用路線を中心に、積極的 に事業への参加を提案しており 、実績に結びついている。	アダプトシステム事業を周知 し、大勢の市民の方々に参加し ていただくように普及を推進し ていく。		16
26			公共交通延べ利用者 数	人/年	113,538 [H22]	125,000	118,123	103,595	遅れてい る	商業施設への停留所の新設、バ リアフリーバスを導入して間が ないため、その効果は未だ顕著 でないと認められる。	公共交通乗車体験イベントの開 催、利用者のニーズを反映した 路線変更等により、利用者の確 保に努める。		108,768
27	221	土地利用	宅地面積	ha	2,337 [H21]	2,492	2,399	2,386	概ね順調	幹線道路及び都市計画道路の整 備の進捗に伴い、沿線農地の転 用等により、宅地面積が増加し た。	雇用増加や定住者増加を目指 し、適地において工業用地、商 業用地などの宅地化の推進を図 る。		2,378

第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						(参考) 平成24年度 実績値		
					計画策定 時の値	平成28年度 末の目標値	平成25年度			結果の分析		今後の方針	備考
							目安値	実績値	評価				
28	222	市街地	跡部臼田線・龍岡城 駅線の整備率	%	0.4 [H22]	100	40	46.18	順調	事業費全体に占める用地補償費 の事業割合が高く、地権者との 契約率が高かったため目安値以 上の結果となった。	事業完了にむけて、今後も事業 を進めていく。		32.46
29	223	住宅・宅 地	住宅マスタープラン の策定		未策定 [H22]	策定	部分的策 定	部分的策 定	やや遅れ ている	平成26年3月に公営住宅整備計 画と位置付ける中で、佐久市公 営住宅長寿命化計画を策定し た。	今年度予定されている公共施設 マネジメント基本方針における 公共施設再配置計画(仮称)、 平成29年度に策定される第2 次総合計画、また、今年度から 始まった県の長寿命化計画の見 直し状況等を勘案しながら、平 成32年度以降の長寿命化計画 の見直しを踏まえ、策定期期、 内容についてについて考える。		未策定
30	231	高度情報 通信ネッ トワーク	電子申請の件数	件/年	289 [H22]	500	373	1,658	順調	利用項目が増加したことによ り、利用機会も増加したため、 数値が緩やかに伸びた。	目標値を超える結果の維持に努 める。	目標 達成	909

第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						(参考) 平成24年度 実績値		
					計画策定 時の値	平成28年度 末の目標値	平成25年度			結果の分析		今後の方針	備考
							目安値	実績値	評価				
31	311	農業	認定農業者数	経営体	268 [H22]	310	285	269	遅れている	農業者の高齢化により、認定農業者を更新しない方がいるため、減少傾向である。	農業後継者等若い農業者へ認定農業者制度を理解してもらい、育成することで目標の達成を目指す。		270
32			農業アシスタント数	人	20 [H22]	70	40	41	順調	平成25年より、野菜の講習会を新品目圃場で開催し、受講者数の増加につながっている。	様々な品目の講習会を開催し、受講者を増やす。		18
33			農業法人数	法人	16 [H22]	20	18	22	順調	経営の安定化を図るため、法人化する農業者が増加している。	国の事業等を利用しながら、法人化を目指す農業者を支援する。	目標達成	21
34			農畜産物産出額	億円/年	108 [H18]	110				(本項目は、国が市町村別の統計調査を行っていたが、平成18年度調査を最後に調査が行われなくなった。現在、全国市長会を通じて、国に対し、調査の復活の要望を行っている。)			データ入手不可能
35	312	水産業	佐久鯉出荷	t/年	110 [H22]	115	112	99	遅れている	以前に比べて需要が減少している。	料理教室などを開催し、佐久鯉の様々な調理をPRする中で、需要の拡大を図る。		99
36	313	林業	森林整備面積	ha/年	610 [H22]	780	678	520	遅れている	平成24年度より森林整備に対する補助要件が厳しくなったため、目標とした面積に至らなかった。	市有林の整備を推進し、目標とする森林整備面積を達成させる。		430
37	321	商業・サービス業	商品販売額	億円/年	1,994 [H19]	2,100	2,036	未公表	実績値なし	経済状況がデフレ傾向にあり平成19年から平成24年は販売額が17.0ポイント減となっている。平成26年には経済センサスが実施されることから調査結果を注視していきたい。	商品販売額は、平成9年から下落しており、目標値の達成は厳しい状況にあると思えるが、空き店舗対策に伴う補助金を平成26年度に創設し、空き店舗の解消に努め商店街の環境整備を図り商品販売額の増加を目指す。		1,656
38	331	観光	市内への延べ入込客数	万人/年	162 [H22]	190	173	148	遅れている	2月の豪雪により、新幹線等の交通網がマヒしたため観光客が大幅に減少した。	自然災害はやむを得ないことから、今後も誘客宣伝活動を積極的にを行い効果的なPR活動を展開する。		152

第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						(参考) 平成24年度 実績値		
					計画策定 時の値	平成28年度 末の目標値	平成25年度			結果の分析		今後の方針	備考
							目安値	実績値	評価				
39	341	工業	製造品出荷額	億円/年	2,061 [H22]	2,500	2,237	集計中	実績値なし	製造品出荷額は現在集計中であるが、目標は達成していないと思われる。	さらに、企業立地の推進と、市内工業の活性化のため、各種事業を実施していく。		1,703
40	351	就労・雇用	就職相談会参加者数	人/年	113 [H22]	130	120	110	遅れている	開催日の調整により、平成24年度に比べ、大幅に参加者が増加したが、目標は達成できなかった。	就職活動時期の変更などがあることから、実施時期の変更等の対応が必要		73
41			インターンシップ実施学生数	人/年	7 [H22]	15	10	8	やや遅れている	始まったばかりの事業のため、PRの効果などで、参加人数も増えてきたが、目標には達しなかった。今後についても、受入事業所及び参加学生へのPRが重要である。	受入事業所の登録数を増やし、参加する学生の選択の幅を広げていきたい。		6

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						(参考) 平成24年度 実績値		
					計画策定 時の値	平成28年度 末の目標値	平成25年度			結果の分析		今後の方針	備考
							目安値	実績値	評価				
42	411	福祉のまちづくり	福祉体験教室開催回数	回/年	14 [H22]	16	15	16	順調	多くの学校等に事業の目的を説明し、協力を得て体験教室を開催できた。	今後も多くの学校に事業の目的を説明し、体験教室を開催することによりボランティア意識の向上を図る。	目標達成	10
43	412	高齢者福祉・介護保険	介護予防事業の延べ参加者数	人/年	19,095 [H22]	23,500	20,857	23,781	順調	二次予防高齢者施策の介護予防ふれあいサロン事業の参加者が増加、一般高齢者施策では、各事業において参加者が増加した。高齢者人口の増加とともに、高齢者の介護予防へのニーズが高まっていると考えられる。	今後もこの水準を維持していきたい。	目標達成	20,000
44	413	障がい者福祉	相談支援事業実施事業所数	事業所	5 [H22]	20	11	12	順調	障がい者の福祉に関する様々な問題について相談に応じ、福祉サービス利用のための情報提供等を行う関係機関と支援会議を行うなかで、相談支援の充実が図られてきている。	相談支援事業所及び相談支援専門員等との連携協力するなかで、障がい児(者)のニーズを的確に把握し、満足度を高められるよう事業を実施していく。		11
45	414	母子父子福祉・低所得者福祉	高等技能訓練促進費・自立支援教育訓練給付金受給者数	人/年	4 [H22]	6	5	5	順調	広報への掲載回数を年1回から2回に増やし、制度の周知に努めたことにより、受給者数が順調に推移している。	母子家庭等の経済的な自立を支援するため、広報への掲載を適宜増やし、諸制度の周知と利用拡大を図る。		5
46	421	健康増進	ぴんころステーション延べ参加者数	人/年	1,715 [H22]	2,000	1,829	1,286	遅れている	野沢山門市は、観光客の方が多く市民が少ないため開催回数を減らした。また、冬季は戸外での開催のため、健康相談にふさわしくない環境であることから冬季の開催を減らした。	ぴんころステーション実施箇所の拡大を図る。		1,080
47			3歳児のむし歯保有率	%	26.71 [H22]	20.00	24	25.12	やや遅れている	健診判定基準が見直され、サホライド塗布歯の分類変更が行われたことが一因とも考えられる。	子どもの歯の教室等、様々な機会を有効に活用し、むし歯保有率の減少を図る。		20.89
48	422	保健活動	メタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合	%	25.2 [H22]	15.2	21	集計中	実績値なし	現在集計中だが、割合は大きく変化していないものと思われる。	医療機関との連携を図るなどし、特定保健指導や結果報告会での指導を充実させる。		26.6

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						(参考) 平成24年度 実績値		
					計画策定 時の値	平成28年度 末の目標値	平成25年度		結果の分析	今後の方針		備考	
							目安値	実績値					評価
49	423	医療	浅間総合病院第二次 整備事業進捗率	%	0 [H22]	100	40	7.00	遅れている	国の交付金事業である地方都市リノベーション事業採択のため、事業スケジュールを変更したことにより当初計画と比べ事業進捗が遅れている。	新たな事業スケジュールにより、事業進捗を図る。		4.55
50	424	医療保 険・国民 年金	国民健康保険税収納 率(現年課税分)	%	90.26 [H22]	100	94	93.48	概ね順調	督促・催告状の発送・臨戸訪問・全職員での滞納整理による 税収の増、未申告者への申告勧 奨での適正賦課	督促・催告書の送付及び臨戸訪 問、全職員での滞納整理、未申 告者への申告勧奨を行う。 国保税を中心とする専任徴収員 の配置を検討する。		91.78
51	431	母子保健	こんにちは赤ちゃん 事業における新生児 訪問率	%	96 [H22]	100	98	98.00	順調	こんにちは赤ちゃん事業が地域 に浸透している。	生後4か月以内に訪問できるよ う、実施をさらに強化してい く。		97.80
52	432	子育て支 援・児童 福祉	子育てサロンの延べ 利用者数	人/年	7,908 [H22]	8,300	8,065	8,857	順調	育児講座や親子遊びの充実によ り利用者数が増加した。	育児不安の軽減を図るため、利 用者アンケート結果や要望等 についてスタッフ会議で検討し、 事業に反映する。	目標 達成	8,753
53			つどいの広場の延べ 利用者数	人/年	15,099 [H22]	15,800	15,379	14,206	遅れている	大雪の影響により開催日数が減 少したことで昨年度より参加者 数が若干減少しているが、気軽 に集い、交流できる場として提 供でき、また子育て相談の場と して、育児不安の軽減を図るこ とができた。	講習内容について、参加者の要 望をスタッフ会議で検討し、事 業の改善を図る。子育てサー クル等の活動実態を把握し、場 所の提供などの支援を行う。県 と連携し、仕事に対する不安や 悩みを抱えた子育て世帯の女 性に対して相談支援を行う。		14,370
54			児童館の延べ利用者 数	人/年	303,975 [H22]	319,000	309,985	273,510	遅れている	目標は達成していないが、H 25年度実施したニーズ調査の 結果から、児童に健全な遊びを 与え、働きながら子育てをして いる家庭の生活支援施設として の市民満足度は高い。	平成25年度の養護学校児童生 徒の受入実績がないことから、 受入先の児童館やその体制等 について検討を進める。		280,265

第5章 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						(参考) 平成24年度 実績値		
					計画策定 時の値	平成28年度 末の目標値	平成25年度			結果の分析		今後の方針	備考
							目安値	実績値	評価				
55	511	環境保全	市内家庭の総消費電力	Mkw/年	239,143 [H22]	191,315	215,230	232,069	やや遅れている	ライフスタイルなどによるエネルギー需要の固定化。	近年の異常な暑さや、積雪量の増加なども勘案しつつ、目標達成のために広報を充実させる。		234,346
56	512	街並み緑化・公園・景観形成	平尾山公園の入場者数	人/年	411,947 [H22]	420,000	415,168	348,927	遅れている	景気などの社会情勢や天候等の影響により入場者の減少がみられる。	公園全体の利用者数が減少する中、昆虫体験学習館の入場者は増加したことから、企画等を充実することで利用者数の増加を図る。		386,238
57			都市公園の整備面積	m ² /人	7.94 [H22]	9.82	9	8.49	概ね順調	市民交流ひろばの開園、佐久総合運動公園補助競技場等の整備により公園面積は増加している。	佐久総合運動公園の整備を計画どおり進めていく。		8.11
58	521	環境衛生	家庭系ごみの排出量	t/年	21,384 [H21]	19,591	20,667	19,621	順調	資源物が減量している一方、分別不足により可燃・埋立ごみは増加している。	市民に対し可燃・埋立ごみの分別徹底を啓発強化し呼びかける。	目標達成	20,297
59			事業系ごみの排出量	t/年	5,296 [H21]	4,670	5,046	5,705	遅れている	資源物・可燃ごみ共に分別不足により増加している。	大量排出事業者に対し、直接ごみの減量・分別徹底を指導するなど、啓発を強化する。		5,754
60	522	上水道	上水道有収率	%	84.0 [H22]	90.0	86	83.7	遅れている	平成25年度は83.7%となり、前年度と比較して0.5ポイント下回り、施設の老朽化等による漏水量の増加が考えられる。	水資源を有効に活用するため、有収率向上の施策を積極的に検討する。		84.2
61			水源余裕率	%	16.2 [H22]	22.0	19	16.4	遅れている	水源水量、一日最大配水量ともに大きな変化がないことから、指標値はほぼ横ばいに推移している。	将来に向け安定した水の供給を維持していくため、適正な水源水量の確保に努める。		16.9
62	523	下水道	下水道整備面積	ha	2,931 [H22]	3,032	2,971	2,952.8	やや遅れている	平成25年度は西屋敷地区、荒宿地区など6.52haの整備を計画的に行い、整備面積は着実に増加している。	未整備地区の優先順位を考慮し、下水道の整備促進を図る。		2,946.3
63			水洗化率	%	86.9 [H22]	90.9	89	90.6	順調	消費税増税の要因によって新規下水道接続件数が増加したと考えられる。	公共下水道区域の未接続世帯を対象に個別訪問を実施し、水洗化の促進を図る。		89.5
64			下水道使用料収納率(現年分)	%	96.8 [H22]	100	98	97.0	やや遅れている	25年度は年度末(2月)の大雪が影響し、交通に支障が生じたため、この時期の収納率が低下し、翌年度収入にずれ込んでしまったことにより、下水道使用料収納率が目標値に若干達しなかった。	口座振替を推進するため、現金納付者の納入通知書すべてに推進チラシ及び口座振替依頼書を同封。また、滞納処分を視野にいたった滞納整理強化を検討する。		97.1

第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						(参考) 平成24年度 実績値		
					計画策定 時の値	平成28年度 末の目標値	平成25年度			結果の分析		今後の方針	備考
							目安値	実績値	評価				
65	611	防災	自主防災組織設置区数	区	230 [H22]	239	234	233	概ね順調	地域での会合に出向き、地域防災力を訴えた結果が表れたと感じている。	自主防災組織を現実的に設置できない地域への対応策を区長と相談し、安全・安心へ繋げる取り組みを図る。		232
66			地域自主防災訓練実施区数	区	143 [H22]	239	181	122	遅れている	平成25年度は、中込地区が佐久市総合防災訓練の参加に代えたこともあり下降したが、全体で見ると上がってきている。	これまでは、組織編成だけに留まっていたが、新規に訓練に取り組みを始めた地域も微増している。いつくるかわからない備えではなく、いつか必ず来る備えに地域防災への高揚を図る。		134
67	612	消防・救急	消防団協力事業所数	事業所	57 [H22]	100	74	96	順調	協力事業所に対する県税の優遇制度・佐久市の入札優遇制度の効果や、災害時における消防団の重要性が広く理解されてきていることが順調な推移につながったと考えられる。	今後も引き続き消防団協力事業所の募集を呼び掛けていく。		93
68			火災発生件数	件/年	61 [H22]	25	47	43	順調	火災予防のビラ配布、独居老人への火災予防訪問、気象乾燥時の野焼注意の広報等の予防消防活動により、住民の火災に対する注意が高まったことが発生件数の減少につながったと考えられる。	火災発生件数は年度により一律な減少とはいかないが、目標値に向けて予防消防活動を行っている。		64
69	613	交通安全	交通安全大会、各種講習会などの延べ参加者数	人/年	10,442 [H22]	16,000	12,665	11,068	やや遅れている	実施回数は前年比増加しているものの、参加者数に減少が見られた。	交通安全市民大会、各種講習会等の開催要請を、関係機関団体に行い、教育啓発活動を推進する。		15,563
70	614	防犯	犯罪発生件数	件/年	1,079 [H22]	835	981	933	順調	昨年より件数は増えているが、全体的に減少傾向である。しかし、年々巧妙化する、振り込め詐欺を代表とする特殊詐欺事件が増加している。	夜間の犯罪防止のための防犯灯設置をはじめ、地域が一体となった防犯体制及び活動の更なる充実を図る。		872
71	615	消費生活	消費生活展、街頭啓発、講習会などの実施回数	回/年	35 [H22]	60	45	31	遅れている	老人クラブ対象の講習会が、全クラブ中、半数に留まっていることから、達成できなかった。	市内全老人クラブによる講習会の開催協力を要請する。		26

第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						備考	(参考) 平成24年度 実績値	
					計画策定 時の値	平成28年度 末の目標値	平成25年度		結果の分析	今後の方針			
							目安値	実績値					評価
72	621	協働のまちづくり	佐久市市民活動サポートセンター登録団体数	団体	- [H22]	300	120	120	順調	登録団体増加のための広報活動を行ったため、登録団体数が増加した。	登録団体を増やすため、ホームページ、機関紙などを活用し、広く告知する。	97	
73			佐久市まちづくり活動支援金事業を活用する団体数	団体/年	- [H22]	10	4	1	やや遅れている	佐久市まちづくり活動支援金が利用されにくい制度であったため、登録団体数が減少した。	平成25年度に利用しやすくなるよう、制度の見直しを行った。今後は、まちづくり支援金の認知度を高めるため、積極的なPRを行う。	6	
74	621	協働のまちづくり	各審議会など全体公募委員割合	%	3.2 [H22]	10.0	6	5.4	概ね順調	市民参加型市政の推進により、市民の関心が高まっているが、認知度が低いため、応募は平成24年度と同じ数となった。	審議会等委員の公募PR等を行い、各審議会などへの市民公募委員割合の拡大に努める。	5.4	
75	622	コミュニティの育成	区への加入率	%	87.57 [H22]	90.00	89	86.30	遅れている	都市化の進展と共に、区への加入率も低下しており、共助の精神は希薄化する傾向にある。	魅力あるコミュニティ活動を支援するため、区の活動費等に対して交付金を交付する。また、新たな連携の方法についても模索していく。	86.77	
76	623	公共施設	新規指定管理者制度導入施設数	施設/年	1 [H22]	1	1	1	順調	市民交流ひろば(公園緑地課所管)の開園に伴い、新規で1件導入した。他の施設については、平成25年度において導入する施設はなかった。	指定管理者制度を導入することが効果的であると判断される施設については、各課と調整し、導入に向けた調整を行っている。	目標達成	3
77	624	行財政	市税収納率(現年課税分)	%	97.25 [H22]	100	98.30	98.26	概ね順調	差押処分の強化により、概ね順調な結果となった。	引き続き差押などの滞納処分を強化していく。	97.86	
78	625	広域連携	定住自立圏による事業実施数	事業	- [H22]	25	10	32	順調	具体的な取り組みの開始から2年目を迎え、制度がより浸透したことにより、事業実施数が増えたものと考えられる。	引き続き関係市町村との連携・協力を図り、定住自立圏による事業を推進していく。	目標達成	31

章別まとめ	順調	概ね順調	やや遅れている	遅れている	その他 (集計中など)
1 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥	8	1	1	9	0
2 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり	5	1	1	1	3
3 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出	2	0	1	5	3
4 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成	6	1	1	4	1
5 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出	2	1	3	4	0
6 市民生活の安全確保と市民満足度の向上	6	3	2	3	0
総合	29 項目	7 項目	9 項目	26 項目	7 項目